

新春を祝い 寅年の飛躍を誓う 令和4年新春交歓会

1月6日、令和4年新春交歓会が野沢体育館で開かれ、町内外から約120人が参加しました。会では、薄町長が「寅年ということでスピード感を持ち、職員一丸となって新しいまちづくりに取り組んでいきたい」と年頭のあいさつを述べました。新春のしらべでは、大山さゆり太鼓の皆さんによる勇壮な演奏が披露され、会場内に力強い和太鼓の音が響き渡るとともに、新年の幕開けを祝いました。



縁起物を求める買い物客でにぎわう 野沢中央通りで野沢初市

毎年恒例の野沢初市が、1月13日に野沢中央通りで開かれました。

昔から野沢初市は「荒れ市」と言われており、この日も朝から雪が降ったり止んだり不安定な天候の中での開催となりました。午前11時から今年1年の商売繁盛などを願う神事や関係者による鏡開きが行われ、そのほかにも大抽選会や、町商工会による宝船引きなどのイベントで会場は盛り上がりました。会場となった野沢中央通りには、多くの露店が軒を連ね、起き上がり小法師や風車などの縁起物を買求めるお客さんでにぎわいました。



▲真剣な表情でプレーする生徒の皆さん（写真提供：西会津高校）

寒さに負けず熱い試合を繰り広げる 西高でスポーツ大会を開催

西会津高校では、昨年12月20日にスポーツ大会を開催しました。これは、10月に任命された生徒会役員の皆さんが企画し開催した初めての生徒会行事です。

体育館の気温は5℃と非常に寒い中、バレーボールでは各学年から計6チームが出場し、総当たり戦で順位を決定しました。試合は白熱した展開を見せ、1年生や2年生のチームも健闘しましたが、優勝は3年生チームとなりました。



長寿を祝い賀寿を贈呈 物江サヨさんが百寿を迎える

物江サヨさん（八重窪）が昨年12月14日に満100歳の誕生日を迎え、同19日に自宅にて賀寿贈呈式が行われました。当日は親族をはじめ、薄町長や荒海清隆町老人クラブ連合会長が出席し、物江さんに賀寿や記念品などを贈呈して百寿を祝いました。

物江さんは、100歳を迎えた現在でも畑仕事や草むしりが日課だそうです。早寝早起き・三食好き嫌いなく食べることが長生きの秘訣だということです。

町の伝統文化「出ヶ原和紙」を視察 内堀県知事が来町

昨年12月17日に内堀雅雄福島県知事が来町し、出ヶ原和紙工房を視察しました。工房を訪れた内堀県知事は、地域おこし協力隊の大山栗那さんの紙漉きを見学したり、和紙職人の滝澤徹也さんからの和紙に関する説明を聞いたりしました。内堀県知事は「西会津ならではの伝統を大事にしながら、さらなる発展に取り組んでほしい」と2人に励ましの言葉をかけていました。



▲写真左から大山隊員、内堀県知事、滝澤さん、薄町長、江添信城教育長

今年の無火災を願い、関係機関の連帯を確認 無火災祈願祭・消防出初式

今年1年の無火災を祈念する無火災祈願祭（上写真）が、1月9日に熊野神社で行われました。町や町消防団など関係者が参加し、1年間の無火災を願い、玉串を奉納しました。

その後、会場を移して消防出初式（下写真）が行われました。この日は町消防団員ら約160人が参加し、野沢中央通りでの閲団式を行った後、道の駅にしあいづまで分列行進を行いました。出初式では、長谷川克美町消防団長が「1年間の無火災・無災害を目標に、団員の確保や技術の向上でさらなる活躍を期待しています」と訓示を述べました。

